

京都大学生協 現役京大生ショップ店員が選ぶ湊かなえ特集



[読書推進]

取り組み概要

日時：2023年8月~9月にかけて設置
場所：京都大学生協ショップルネ
書籍コーナーの一角を、アルバイトス
タッフ作成のポップが彩っていた。

概要：京都大学生協学生アルバイトス
タッフによるポップ作成。スタッフの推
しである湊かなえさんの著書を取り上げ、
ショップルネにて設置した。

学生アルバイトスタッフと協同した素敵な店舗づくり

POINT.1 学生アルバイトスタッフとの協同

2023年度（企画実施当時）、関西北陸ブロック方針「学び」分野において、ブロックで大切にしたいポイント①に「組合員同士の交流や声を通して、大学ごとの特色を活かした学びを提案・実施しよう」と掲げていました。

本企画では、京都大学生協の学生アルバイトスタッフと協同し、ショップルネ書籍コーナーに設置するポップを作成しました。学生と職員で企画を行う場合、学生委員会や学生理事との協同を思い浮かべがちですが、大学生協で働くアルバイトスタッフも、組合員のひとりです。同じ店舗で働く職員と学生が一緒になって、ひとつの企画を形成している点が教訓的です。



POINT.2 「推し」を、おすすめコーナーへ

今回の企画は「現役京大生ショップ店員が選ぶ湊かなえ特集」と題して行われました。数多く存在する作家のうち、湊かなえさんに絞った理由は、学生アルバイトスタッフの推し作家だから。ポップは全てアナログで作成され、自身のことばで各作品の魅力を描き表していました。スタッフの好きな作家・作品を選択し、ポップとして店舗に設置することで、組合員の読書推進につなげることができていました。



POINT.3 「学生作」を全面的に宣伝

京都大学生協では、全ての食堂購買において、店舗ごとのX（旧Twitter）のアカウントを有しています。ショップルネのXで行われた本企画の投稿では、学生アルバイトスタッフによっておすすめコーナーが作成されたことが大々的に宣伝されていました。「学生の手で」作られたということを全面的に打ち出すことで、フォロワーの興味関心につなげることができていました。

また、企画で用いる作成物は学生の手で、ショップのSNSを用いた情報宣伝は職員の手で行われ、学生・職員それぞれの立場から、連携して企画を創り上げることができていました。

